



は せ がわ ゆき こ
長谷川 幸子

に ほんきょうさんとう つ し ぎ だん
日本共産党津市議団

若者が生き生きと働き 生きがいの持てる街に

問 若者が希望を持ってない街に未来はなく、若者の声をしっかりと聞き、若者が主役の生きがいの持てる津市をつくりたいと思っている。無縁社会、孤独死など孤立に関するキーワードが注目される時代であり、孤立は高齢者だけの問題ではなく、引きこもりや孤立無業という言葉で若い世代が注目されている。

津市における引きこもりの現状と今後の取り組みは。

答 現在、津市独自の支援はないが、これら若者等の対策については、アスト津3階にある三重県の「おしごと広場みえ」や「若者就業サポートステーション・みえ」等において支援活動を行っているところであり、今後も県と連携していきたいと考えている。また、若者の雇用対策については、国や県等の関係機関と協力・連携するとともに、積極的な企業誘致など雇用の場の創出による新たな就業の場を確保するなど、雇用の拡大につなげていきたい。

さらに、平成27年4月から援護課に設置する生活困窮者の相談窓口で、幅広く相談に応じ、三重県ひきこもり地域支援センター等の関係機関へつなげていくなどの支援を行っていききたいと考えている。

●その他の質疑・質問●

- 福祉医療費無料化の拡充を
 - ・通院も中学校卒業まで無料に
 - ・子ども、ひとり親家庭、障がい者の医療費窓口無料の実施を
- 高齢者が安心して暮らせる高齢者福祉施策、介護保険制度を
 - ・介護保険料、利用料の軽減を
 - ・緊急通報装置、紙おむつの支給は希望する人全てを対象に
- 若者の定住化を目指す支援策の充実を など



▲若者が希望を持てる津市に



かつら さん ばつ
桂 三 発

いっ しん かい
一 津 会

高齢者等のごみ出しに 対する支援について

問 ごみ出しに当たり、高齢者や障がい者の方にとって、そのごみを運ぶことが困難な場合、行政としてどのような支援を考えているのか。

また、高齢者には扱いが大変なスプレー缶等の廃棄物の収集について、今後どのように対処していくのか。

答 他市では高齢者や障がい者に対して個別収集や粗大ごみの収集等を行っている所もあるが、支援が必要な方の把握、収集コスト、収集体制の見直しが必要なことから、現行では十分な支援ができるとは思っていない。

今回、介護保険制度の改正により、新たに地域支援事業としてごみ出しや見守り等の支援が必要な高齢者に対して、地域で取り組んでいくことが示されていることから、今後は健康福祉部と連携を図り、ごみ出し困難者の支援としてどのような方法があるのか検討していく。

また、スプレー缶などの高齢者等にとって穴開けが困難な廃棄物については、特別に危険物回収日を設け、蛍光管等も含め回収できないか検討しているところである。

●その他の質疑・質問●

- 津市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部の改正について
- 未利用地について
- 津シティマラソンの今後について
- 中小零細企業への支援について
- 新リサイクルセンターへの罹災りさいゴミの搬入について など



▲市有の未利用地は積極的に払い下げを